



神奈川県

KANAGAWA

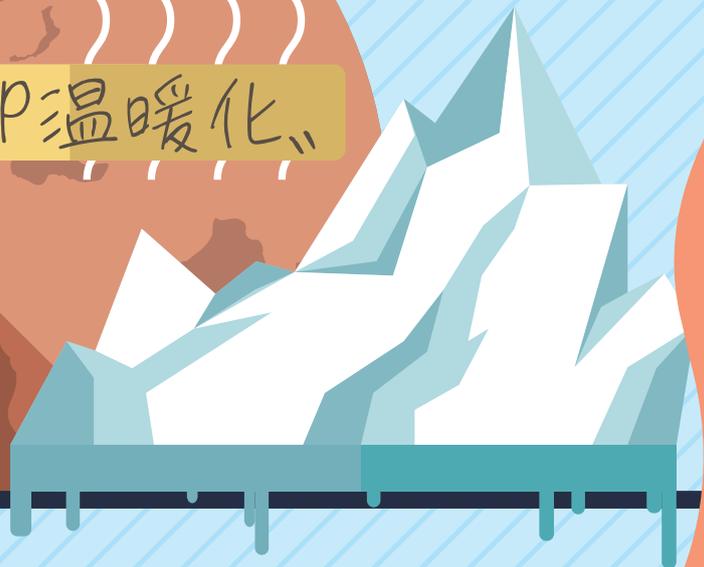
概要版

神奈川県 地球温暖化対策計画

このごろ地球が暑すぎる



「STOP温暖化」



令和6年3月改定



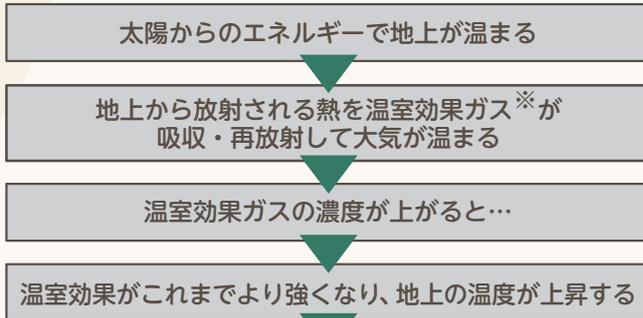
地球温暖化の仕組みと現状

近年、人間活動に起因する地球温暖化により、異常気象、生態系への影響、食料生産や健康など、人間への影響が既に現れています。

このまま地球温暖化が進行すると、被害が更に大きくなり、将来世代の「いのち」を脅かすおそれがあります。

こうした状況に歯止めを掛けるためには、地球温暖化の要因である温室効果ガスを削減する「脱炭素」の取組等を進める必要があります。

地球温暖化のメカニズム



これが
地球温暖化

※主な温室効果ガスの種類として、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロン等があります。



出典：環境省(県で一部加工)

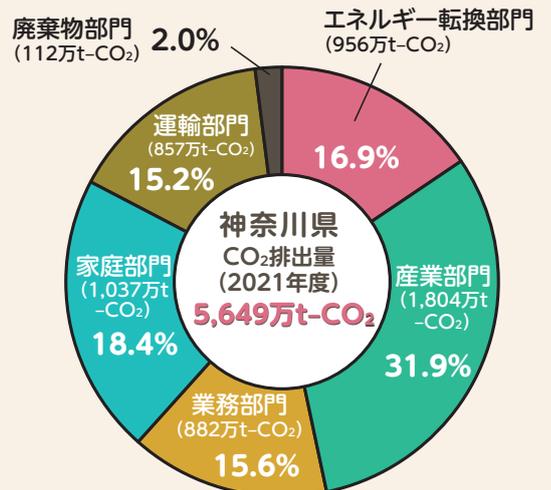
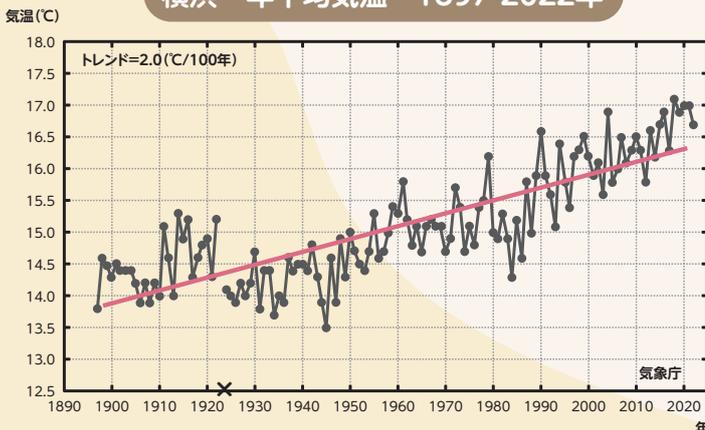


神奈川県 の状況

横浜気象台の観測による年平均気温は、長期的に上昇傾向にあり、100年当たり2.0℃の割合で上昇しています。

県内の部門別CO₂排出量のうち、事業活動による排出量(産業・業務部門)が約5割を占め、家庭生活での電気やガスの使用などによる排出量(家庭部門)は約2割を占めています。

横浜 年平均気温 1897-2022年



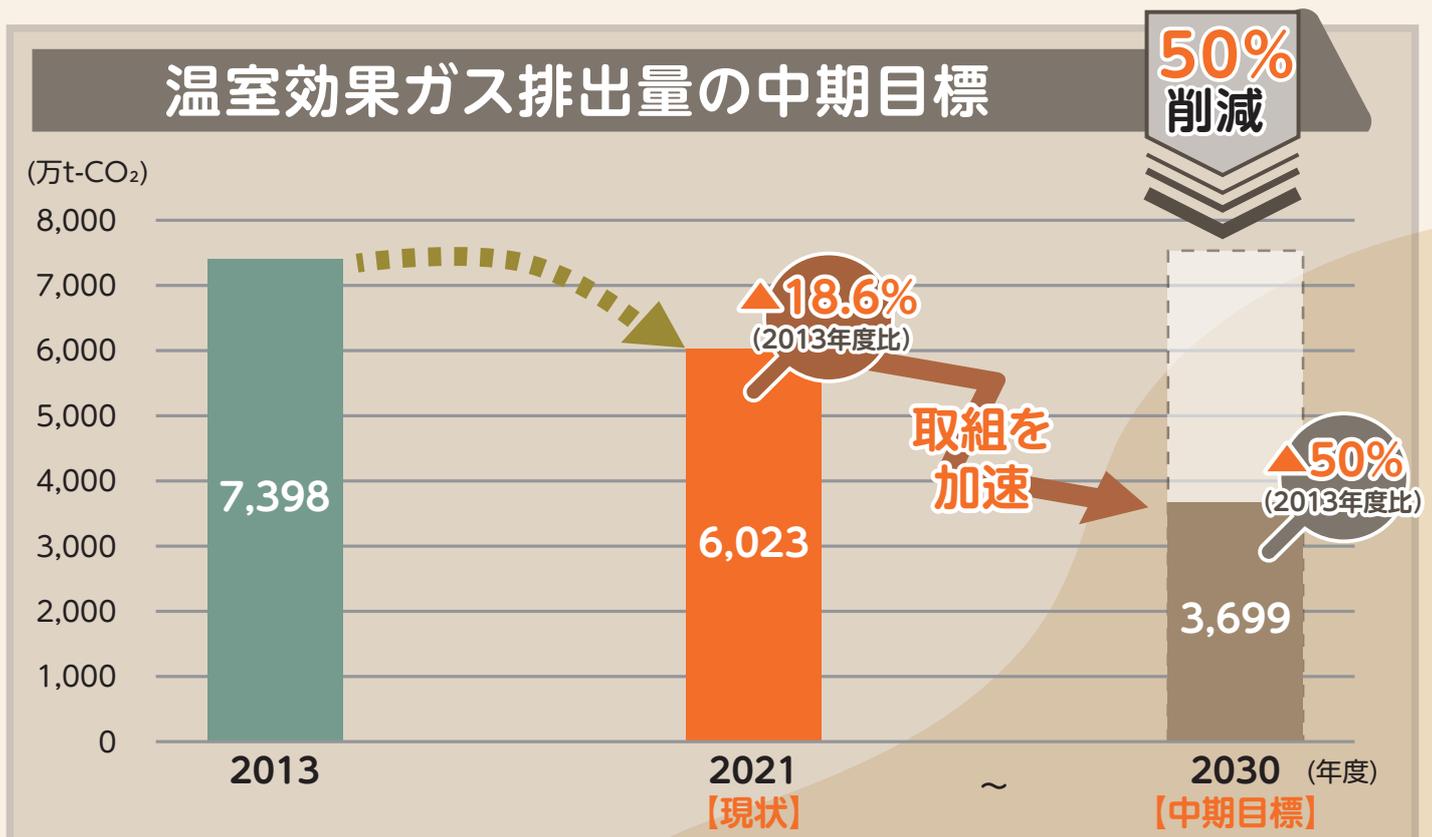


計画の概要

「神奈川県地球温暖化対策計画」は、地球温暖化対策に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、基本方針や県の取り組むべき施策等を取りまとめた計画です。

計画期間	2024 (令和6) 年度から 2030 (令和12) 年度まで	
基本方針	未来のいのちを守るため、脱炭素社会の実現に向けて多様な主体が気候変動問題を自分事化し、オールジャパン、オール神奈川で緩和策と適応策に取り組む。	
目標	長期目標	2050年脱炭素社会(カーボンニュートラル)の実現
	中期目標	2030年度の県内の温室効果ガス排出量を2013年度比で50%削減
	太陽光発電導入目標	2030年度までに200万kW以上導入

2013年度と比較して、温室効果ガスの排出量は着実に減少してきているものの、脱炭素社会の実現に向けて、取組を加速させる必要があります。



緩和策

県や市町村、事業者、県民の皆様など、様々な主体がオール神奈川で、地球温暖化を防止するための取組である「緩和策」に取り組む必要があります。

県としては、部門別の目標を設定し、多様な主体による徹底した省エネルギー対策や再生可能エネルギーの導入・利用などを後押しするとともに、温室効果ガスの大規模排出事業者でもある県庁が率先して取り組むことで、中期目標である「2030年度までに温室効果ガス排出量 50%削減」を目指します。

(万t-CO₂)

部 門	2013 年度排出量	2030 年度排出量 (目標)	2013 年度比 削減割合
エネルギー転換部門 (発電所等)	940	498	▲47%
産業部門	2,413	1,032	▲57%
業務部門	1,306	459	▲65%
家庭部門	1,254	655	▲48%
運輸部門	1,073	820	▲24%
廃棄物部門	131	69	▲47%
その他ガス	280	182	▲35%
吸収源	—	▲16	—
総排出量	7,398	3,699	▲50%

注：その他ガス（メタン、一酸化二窒素、代替フロン等）の排出量は、CO₂の排出量に換算しています。

県の主な取組



産業・業務部門の主な取組

- 大規模事業者の取組の「見える化」
 - 中小規模事業者に対する相談体制の整備
 - 中小企業に対する省エネルギー設備の導入等支援
 - 大企業と県内中小企業等の連携による研究開発の取組支援
 - Z E B^{注1}の普及
- 等



家庭部門の主な取組

- Z E H^{注2}の普及
 - 既存住宅の省エネルギー改修の支援
 - 事業者や地域と連携した環境配慮行動に対する取組の推進
 - デコ活^{注3}を活用した情報発信
- 等



運輸部門の主な取組

- 電気自動車(EV)・燃料電池自動車(FCV)の導入支援
 - EV普通充電設備の設置支援、水素ステーションの整備支援
 - MaaS^{注4}の導入促進、エコドライブの促進
- 等



横断的な取組

- 再生可能エネルギーの導入促進・利用拡大
 - ・自家消費型太陽光発電や蓄電池の導入に対する支援(事業者向け)
 - ・太陽光発電や蓄電池の導入支援(住宅用0円ソーラー・共同購入)
 - 水素需要の創出と機運の醸成
 - ・FCVの導入や水素ステーションの整備に対する支援
- 等



県庁の率先実行

- 県有施設の省エネルギー対策の徹底
 - ・照明を2027年度までに原則LED化
 - 公用車へのEV・FCV等の導入推進
 - ・2028年度までに全て電動車化(代替可能な車両がない場合を除く)
 - 県有施設の再生可能エネルギーの活用
 - ・太陽光発電を2030年度までに50%、2040年度までに100%の導入(設置可能な施設のみ)
- 等



その他の取組

- 資源循環の推進・廃棄物の適正処理の推進
 - フロン類、メタン、一酸化二窒素の対策
 - CO₂吸収源対策(森林・海洋)
 - 脱炭素教育の推進
- 等

注1 ZEB : 「Net Zero Energy Building」の略称であり、「省エネ」と「創エネ」により年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロにすることを目指した建築物のこと。

注2 ZEH : 「Net Zero Energy House」の略称であり、「省エネ」と「創エネ」により年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロにすることを目指した住宅のこと。

注3 デコ活 : 令和5年から始まった新しい国民運動「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称で、脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む「デコ」と活動・生活を組み合わせた言葉。

注4 MaaS : Mobility as a Service(サービスとしての移動)の略で、地域住民や旅行者一人一人の移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済を一括で行うサービスのこと。

適応策

緩和策を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対して、その被害を軽減し、より良い生活ができるようにする「適応策」を併せて推進します。

本計画では、本県における影響を踏まえ、7つの分野と分野横断的な取組で対策に取り組めます。



日常生活で取り組める適応策の例

健康分野

熱中症予防のための
5つのポイント

POINT 01 水分と電解質をこまめに補給



POINT 02 十分な睡眠とバランスの良い食事をとる



POINT 03 外出時は日差しを避ける



POINT 04 室内を涼しくする(換気も忘れずに)



POINT 05 暑さ指数 (WBGT) を確認



神奈川県 健康増進課 熱中症 | Q

自然災害分野

自然災害(風水害)から
身を守るための
ポイント

POINT 02

雨量や河川の水位、土砂災害等に関する情報を確認しよう。避難の準備や開始のタイミングを決める目安となるよ。



POINT 01

ハザードマップで危険箇所を確認しよう。自宅や自分がよく行く場所の災害リスクや連絡先・経路が確認できるよ。



POINT 03

「マイ・タイムライン」を作成してみよう。専用シート・WEB・アプリで作成できるよ。



神奈川県 マイ・タイムライン | Q

計画の進行管理

毎年度部門ごとの排出量を推計するとともに、施策に関する指標の達成状況も把握した上で、改善すべき施策等を整理します。

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
施策の推進（毎年度進捗評価）						
						

かながわ発※!!
次世代の太陽電池

ペロブスカイト太陽電池

現在、実用化に向けて研究開発や実証が進められているペロブスカイト太陽電池は、薄くて、軽く、柔軟である特徴から、これまでの技術では設置が難しかった場所にも設置でき、また、低コスト化が見込まれることから、次世代の太陽電池として、今後、飛躍的な普及が期待されています。

※ ペロブスカイト太陽電池は、桐蔭横浜大学の宮坂特任教授が開発した、かながわ発の技術です。

特徴

軽い!

材料をフィルムなどに塗布・印刷して作るため、薄くて、軽く、柔軟です。

安い!

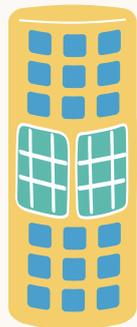
製造工程が少なく大量生産できるため、低コスト化が見込めます。

国産原料!

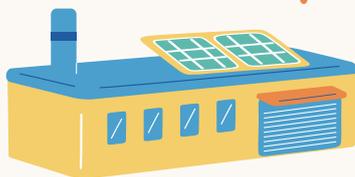
主な原料であるヨウ素の生産量は、日本が世界第2位となっています。

こんな
ところにも
設置が可能に

ビルの壁面



耐荷重が小さい
工場の屋根



電気自動車の屋根や
洋服にも



神奈川県では、早期実用化を目指し、企業と連携した実証事業を進めています。



神奈川県



JGC 日揮株式会社



神奈川県



タネまく、
MACNICA



Peccell

いま すぐ 身近に できること



- テレビを見る時間を少なくしよう
- 見ていない時は電源を切ろう
- しばらく見ない時はプラグを抜こう

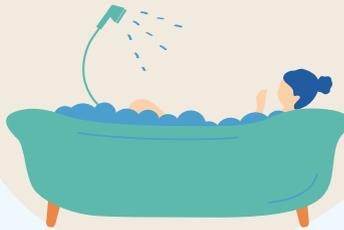


- 照明を使う時間は短くしよう
- 使わない時はこまめに消そう
- LEDに交換しよう

- シャワーを出す時間は短くしよう
- 節水シャワーヘッドに交換しよう



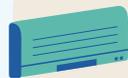
- 短い距離は歩くか、自転車に乗ろう



- 夏は涼しく、冬は暖かく、
気温に合わせた
服装を選ぼう



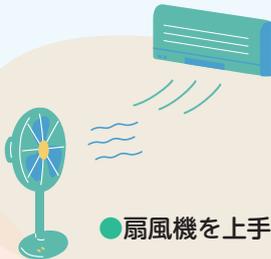
- 冷蔵庫は
短い時間で開け閉めしよう
- 中身を整理して、
ものをつめすぎない
ようにしましょう



- 室内の温度が夏は 28℃、
冬は 20℃ になるように設定しよう
- 使う時はカーテンを閉めよう
- エアコンのフィルターを掃除しよう



- 冬は温かいものを食べて、
体を温めよう



- 扇風機を上手に使ってみよう



- 冬はカーテンなどを閉めて
窓やドアから
熱が逃げないように工夫しよう

出典：こども環境白書（環境省）を元に県で作成

神奈川県地球温暖化対策計画や脱炭素の取組についてもっと詳しく知りたい方は、
かながわ脱炭素ポータルをご覧ください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/0502/kanagawa-datsutanso-portal/>

かながわ脱炭素ポータル | 🔍



デコ活
くらしの中のエコろがけ

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

VOC
FREE™

ノン VOC インキ(石油系溶剤 0%)を使用し、再生可能エネルギー 100% で
印刷しています。

神奈川県

環境農政局 脱炭素戦略本部室 企画グループ

〒231-8588 横浜市中区日本大通1 電話 045-210-4076 FAX 045-210-8952